

小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表
くろさき小規模多機能ホーム 野崎幸紀

法人名	社会福祉法人 普代福祉会	代表者	大上 重信	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・普代村の黒崎地区に立地し、旧小学校の一部を改装して開所した小規模な施設です、地域の方々との距離は近く、訪問・面会・差し入れ等も多く利用者様との馴染みも出来ています。 ・施設理念である「あなたの笑顔のお手伝い」をモットーに職員一丸となってお世話させていただきます。
事業所名	くろさき小規模多機能ホーム	管理者	野崎 幸紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	6 人	1 人	2 人	2 人	2 人	5 人	0 人	20 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との繋がりを工夫し地域の方々に親しみを持って頂けるよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブや子ども会と連絡を取りながら活動に参加しコミュニケーションを取っていた。大きなお祭りの参加を予定していたが、雨の為中止となった。従来のお祭り等はこなしていたが、新たに工夫して繋がりを持つということは見られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブや子供会の活動に参加し、コミュニケーションをとったことはとても良いことだと思う。村の行事にも参加し、関わりを持った方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（村）の行事、イベントの把握に努め、積極的に参加する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続されることを願う。併せて外周の美化（除草等）にも努められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や地域の協力のもと環境整備に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の全戸配布については、今後検討課題としたい。 ・常に体調を勘案しながら対応しておりご家族に理解して頂けるよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.8には回覧にて配布行った。今年度は9月29日に黒崎地区全戸配布にて第3号を発行した。2月末には第4号を予定している。事業所は地域では知られているが、相談事や困りごと等は地域の役員さんは来ることがあっても一般住民は来ることは見られていない。また地域の行事やイベントには利用者とともに職員も参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の存在は困った時の安心感や健康に老いる事の意識の改革に一役駆っているものと考えている。新聞について黒崎地区全戸配付は大変好評だったが欲を言えば、カラーの方がいいのでは。（他地区は全戸ではないが地区回覧にて配付している） ・気軽に立ち寄れる環境作り認知症カフェの検討は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・くろさき小規模多機能ホームの機能として「相談できる場所」であることを広報誌にて地区住民へ周知する。認知症カフェについては法人全体として実施したい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の把握に努め、積極的に関わる。 ・包括との関係は、更に強化し継続して行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議には参加し、情報の把握と利用者の相談事等積極的に行っている。また利用者について地域包括支援センターに出向き、情報の交換や収集を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がつい見逃してしまうところまでの気遣い、心配りに感謝している、利用者当人も安心感を持っていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内事業所との連携を強化するとともに、地域ケア会議を通じての情報収集、民生委員や福祉関係との連携を行い、地域住民や利用者の情報把握と相談対応に努める。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の方々から、活発な意見が出るような進捗を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで会議が行われているが、活発な意見は見られていない。また進行方法や議題の内容等の説明とどのようにすれば活発な意見が出るか考えているが、3回の会議の中では成果は見られていない。検討中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の会議では施設側だけの説明だけになっているのでは、何か会議ごとのテーマがあればと思う。会議場所等利用者からみられない状況も必要ではないか。 ・施設側は委員に丁寧に説明しようとする至誠（まごころ）が感じられる、また地域の方々と一緒に取り組もうとしている至誠が多く感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議のテーマに応じて会議場所を変更する。また必要に応じ資料等事前に配付するなど、会議の運営方法を工夫する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画の説明を行う。 ・来年度の避難訓練に火災以外の計画を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 7/3（月）に実施された火災による避難訓練については事前と事後の報告を行っている。また福祉会全体で停電時を想定した災害訓練が8/24（木）実施された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練時では職員の方々が真剣に取り組む姿勢がとてもよかったと思う。また災害が起きた場合は施設だけの対応では難しいので、地区との協力が必要と思われるので、今後地区、関係機関等との訓練を考えては。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実災害に合った訓練内容を考え、地区住民、関係機関等の協力を得ての防災、災害対策を計画し実施する。また広報誌を活用し、地域住民の協力を要請する。